

発議第 3 号

地域経済と町民生活を守るために TPP 交渉大筋合意に反対する意見書

上記の意見書を別紙のとおり提出します。

平成 27 年 12 月 11 日

提 出 者

八雲町議会議員 横 田 喜世志

賛 成 者

八雲町議会議員 佐 藤 智 子

八雲町議会議長 能登谷 正 人 様

地域経済と町民生活を守るために TPP 交渉大筋合意に反対する意見書

国民生活の基盤となる食糧生産と食の安全に深刻な影響を及ぼし、国民の命を守る健康保険制度や医療制度の改悪につながる TPP 交渉は、情報開示のないままに多くの国民が反対の声を上げる中で、大筋合意したと発表された。

とりわけ、生産者が需給調整に必死に取り組んでいる中で、米の 7 万 8,400 トンの新たな輸入枠拡大や牛肉・豚肉の段階的な関税引き下げ、バター乳製品の輸入拡大などは、政府公約と国会決議を無視した内容であり、農業を基幹産業とする八雲町にとって断じて容認できない。

私たちは、この TPP 環太平洋経済連携協定大筋合意に、大きな憤りと懸念を表明する。政府及び国会には国会決議を守り、国民合意を尊重すること、ならびに地域農業と食の安全、保健・医療等の国民生活に影響が及ぶ TPP に批准しないことを求める。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 27 年 12 月 11 日

北海道二海郡八雲町議会議長 能登谷 正 人

提 出 先
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
外務大臣
経済再生・経済財政大臣